

基本設計（案）などに関する質疑

- Q 新庁舎の完成後は、全ての機能を一斉にオープンするのか、部分的にオープンとするのか。
- A 令和5年5月の連休明けに施設全体をオープンすることで計画している。ただ、来庁者駐車場は、現在の庁舎を解体した後に整備することになるため、施設のオープンから1年遅れて完成となる。
- Q オープン時期には人が集まるので、利用できる駐車場のアナウンスが必要である。
- A 具体的に決まった時期に町民に伝えていく。
- Q 中央公民館を解体した後の投票はどこで行うようになるのか。
- A 新庁舎2階の議場は十分な広さがあるのだが、エレベーターは付けるものの階段を利用してもらうことになるため不便をかけてしまう。選挙管理委員会とも協議を行っているが、斜網地域中央管理所にある会議室が十分な広さであるため、今後はそこを投票所にしたいと考えている。
- Q 新庁舎は避難所とするのか。
- A 新庁舎は災害発生時や緊急時に逃げ込むための「一時避難所」と考えている。避難所の準備が整うまで一時的に避難者を受け入れる施設であり、居住空間を設けて、炊き出しなどを行う「避難所」は、愛ホールと小学校、中学校とする。
- Q 小学校に非常用発電機はないが、避難所として機能しないのではないか。
- A 令和2年度中には設置する予定となっている。
- Q 屋外トイレはなぜ残すことになったのか。
- A 未定ではあるがコインランドリーを24時間営業とした場合、夜間になると施設内のトイレが使えなくなるため残すこととした。また、利用頻度も高く、残して欲しいとの声も多いため、新庁舎に合わせて外装を改修し、引き続き使うことで計画している。
- Q 地下に非常用発電機を置くのか。水害には合わないのか。
- A ハザードマップでは、千年に一度の大雨が降った場合でも浸水しない区域に建設するため、1階や2階を有効に利用するためにも地下に配置することとした。
- Q 非常用発電機的能力は施設全部を賄えるものなのか。
- A これからの実施設計で詰めていくことにはなるが、冬期間に停電になっても暖房が使える、一定程度の照明や災害対策本部としての機能を維持できる容量としたい。

Q 新庁舎ににぎわいゾーンを設けることはいいが、車がない高齢者は行くことができない。

A 令和2年4月からタクシーの助成を拡大したところであり、この成果を分析してこれからの公共交通の在り方を考えたい。バス路線を増やすことはできないため、タクシーを利用した公共交通が中心になると考えている。

Q 太陽光発電で停電時はすべて賄えるのか。

A 発電の容量はこれから精査するが、コスト削減のため必要最低限と考えており、全てを賄う計画にはなっていない。環境にやさしい庁舎づくりを目指しているが、太陽光発電ではなく温泉熱を利用した暖房が一番の脱炭素、省エネになると考えている。

Q 工期を13ヶ月としているが、自主施工期間は工事を休むのか。

A 自主施工期間は工期の13ヶ月に含めており、最初の冬は準備のために現場は動くことはなく、2回目の冬は躯体が出来上がっている時期であり、内装工事は実施できることから、工事を休むことはない。

Q ハト小屋はなんのためなのか。

A ハトを飼うための場所ではなく、ハト小屋は建設用語であり、排気設備を集約するための設備となっている。

Q 保育スペースを設けるのか。

A 幼保一元化を図り、認定子ども園の開設を検討しているが、新庁舎ではなく新たな場所に建設することを考えている。

少子化はすすんでいるものの、現在の保育所の施設では対応はできないと考えている。

Q 町道を廃止することになれば不便になり、職員の駐車場も遠くなる。

A 道路愛護推進委員にも説明しており、町道は急な坂道で歩行者が危ない目にあっているため、廃止についてはこれから町民に広く周知していく。

職員駐車場から国道に入る道が1ヶ所では不便であるため、防災ひろばにもう1ヶ所道路を整備することを計画している。

Q 温泉はどこに掘るのか。

A 実際に使用する新庁舎に近い方がコストが抑えられるため、新しい公用車車庫横で掘削するように計画している。

Q 冬期間の堆雪スペースはどのように考えているのか。

A 来庁者駐車場は西側、職員駐車場は未定である。

Q ポケットパークは有料の駐車場になるのか。

A 駐車場ではなく公園を整備する。

Q 町民文化祭を愛ホールで開催しているが、場所が遠いため人が待つまりづらく、パーティションが重たくて設置が困難であるため、新庁舎のにぎわいゾーンでできないか。

A 様々な利用ができるように広い空間を作り、移動可能な什器の配置を計画しているため、町民の活動のために積極的に利用して欲しい。